



YES or NO で診断

7つのtypeで見えてくる！あなたはどの本を読む？



公益財団法人 京都市生涯学習振興財団
京都市洛西図書館

〒610-1143
京都市西京区大原野東境谷町2丁目1-2洛西総合庁舎1階
電話(075)333-0577 FAX(075)333-0887
■開館時間 平日 午前9時30分～午後7時
土曜・日曜・祝日 午前9時30分～午後5時
■休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日)
年末・年始



洛西図書館のHPはこちら



TYPEA のあなたは…

ミステリー(推理)



“タイトルは知ってるけど…” から “読んだことある！” へ
たんてい かいいじん

『少年探偵 1 怪人二十面相』

えどがわ らんぼ
江戸川 乱歩／作 ポプラ社

ぼうめいたんてい
某名探偵アニメのキャラクターのモデルにもなった『怪人二十面相』。どんなお話かご存じですか。
「江戸川乱歩って昔の人でしょ？読みづらいんじゃないの？」と思っているそこのあなた、ぜひ手に取ってみてください。

この2冊もおすすめ！

- ①『パーフェクト・ブルー』
宮部 みゆき／著
東京創元社
- ②『星に願いを、月に祈りを』
中村 航／著
小学館

TYPEB のあなたは…

ファンタジー



どうぼう
逃亡の先で少年が見つけた“願い”とは…

『闇に願いを』 クリスティナ・スートンヴァット／著 こだま ともこ／訳 辻村 万実／訳 静山社

けいむしよ
刑務所で生まれた少年ポンは、法律によって13才になるまで外に出ることができない。ある日、魔法の光で街に繁栄をもたらした総督の言葉に傷つき、自由を求めて脱走する。逃走中にかくまってくれたチャム老師は、総督の本当の姿を知っているようで…。恩師の願いを胸に、世界を変えようと集まった仲間と立ち上がる！

ラストに感動すること間違いなしです。

この2冊もおすすめ！

- ①『あの雲を追いかけて』
アレックス・シアラー／著
竹書房
- ②『ネバームーア』
ジェシカ・タウンゼント／著
早川書房

TYPEC のあなたは…

時代小説



みりよく
紙の魅力を感じる一冊

『もえぎ草子』 久保田 香里／作 tono／画 くもん出版

へいあん
平安時代の都、職御曹司（しきのみぞうし）という役所で下働きをするようになった12才の萌黄は、会ったこともない父親が贈ってきた紙を叔母からもらう。しかし、その紙が高価な「紙屋紙」だったことから、清少納言に盗みの疑いをかけられて…。

居場所を失った少女が人々との出会いを通して夢を持つまでの成長物語。

この2冊もおすすめ！

- ①『南河国物語』
濱野 京子／作
静山社
- ②『暗夜鬼譚』
瀬川 貴次／著
集英社

TYPED のあなたは…

ショートストーリー
(短編小説)



どんな世界であろうとも、たくましい

『人間たちの話』

柞刈 湯葉(いすかり ゆば)／著 早川書房

すべての行動・言動が点数化された超リアル監視社会、どんな生物でも食べる器官があれば客とみなす宇宙のラーメン屋など、科学の面白さと不器用で面白い人間たちの多彩な生活を描いたSF短編集です。いつか訪れるかもしれない未来かも？と思いながら、ぜひ読んでみてください。

この2冊もおすすめ！

- ①『ひだまりのストリート・ピアノ』
河邊 徹／著
PHP研究所
- ②『謎の香りはパン屋から』
土屋 うさぎ／著
宝島社

TYPEE のあなたは…

ライトノベル



ーこれは正義の物語ではないー

『フロスト・クラック 連続狙撃犯人の推理』

時雨沢(しぐさわ) 恵一／著 KADOKAWA

そげき
日本各地で連続狙撃殺人事件が発生。事件について相談された「男」は狙撃方法を推理するが……。

全てが電話の会話のみで構成されており、非常にテンポよく読めます。安楽椅子探偵のような面白さと、ガンアクションのような緊迫感が楽しめます。代表作に「キノの旅」など

この2冊もおすすめ！

- ①『サイレント・ウィッチ』
依空 まつり／著
KADOKAWA
- ②『悪役令嬢の中の人』
まきぶろ／著
一迅社

TYPEF のあなたは…

実用書orノンフィクション



万能ネコ型ロボットは存在しない

『おとなになるのび太たちへ』

藤子・F・不二雄／まんが 小学館

すだ まさき
俳優の菅田将暉さんや声優の梶裕貴さん、宇宙飛行士の向井千秋さんなど、様々な分野で活躍している有名人が、誰もが知っているドラえもんのマンガにあるエピソードを通して、自分のやりたいことをするにはどうしたらよいか伝えてくれます。

おとな・こども、どちらの「のび太」にも読んでほしい本です。

この2冊もおすすめ！

- ①『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ。』
川上 和人／著
新潮社
- ②『宇宙食になったサバ缶』
小坂 康之ほか／著
小学館